

☆親子読書の感想をご紹介します☆

＜本の題名＞江戸の笑い

＜子どもの感想＞この本を読んで、落語に興味を持ちました。「落ち」がとてもおもしろかったです。他にも、落語の本を読みたいです。

＜家の人感想＞声をあげて笑いながら読んでいた子どもの様子を見て、父と母も読んでみることにしました。読んでみると、たしかにおもしろい！その後、落語の本を続けて読んでいたので、その中のオススメを紹介してもらっています。いつか、本物の落語を見に行きたいね！

（5年生Fさん）



＜本の題名＞きみの町で

＜子どもの感想＞重松さんの書いた本は、話の初めの題名のとなりに「～は何？」と書いてあるので、読者に問いかけているんだと思いました。重松さんは、読者にいろいろなことを伝えたいと思っているのかもしれないと思いました。

＜家の人感想＞少し前に、子どもが「この本おもしろい！」と教えてくれたのが「きみの町で」でした。大人にも忘れかけていた気付きを与えてくれる一冊だと思います。物語を通して、生き方の「答え」ではなく、「ヒント」が散りばめられています。子どもがおもしろいと感じた理由もそこにあるのかな？同じくらいの年齢の子に、ぜひ読んでいただきたい作品です。

（5年生Mさん）

＜本の題名＞君たちはどう生きるか

＜子どもの感想＞よくある学校生活での出来事や、不思議に思うことがじっくり書かれていて、共感する部分がたくさんありました。おじさんの言葉ひとつひとつがとても大切なことで、覚えておきたい言葉もたくさんありました。

＜家の人感想＞難しい内容だと思いますが、自らこの本を手にとってくれたことが嬉しいです。思春期だし、自分の考えに振り回されていますが、この本の内容を思い出して前向きに成長していったほしいものです。

（6年生Sさん）



＜本の題名＞ジュニア空想科学読本

＜子どもの感想＞アニメや漫画の不思議を科学で検証すると、とてもおもしろいし納得いく本でした。特にサザエさんのエンディングの、山の小屋に入るところがオススメです。

＜家の人感想＞アニメや漫画ならではの現象を、ユーモアたっぷりに説明されていて、とてもおもしろい一冊です。科学的根拠や理論に基づいて説明されていますが、とても分かりやすく、意外な結果に親子で大爆笑しながら読めると思います。

（6年生Tさん）

今回は5、6年生の感想を紹介しました。

たくさんのご家庭で親子読書に取り組んでいただき、ありがとうございました。

